

# アンケートの ご協力をお願い



【期間】2017年6月12日～9月15日

## ●調査の概要

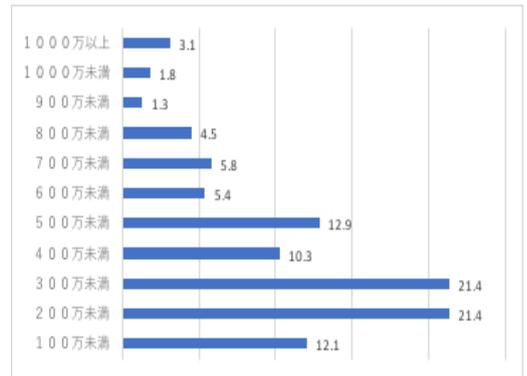
本調査は、全国大学院生協議会(全院協)が、全国各大学院の加盟院生協議会・自治会の協力の下に実施する全国規模のアンケート調査です。大学院生の経済実態を客観的に把握し、もって大学院生の研究及び生活条件の向上に資する目的で行われるものです。2004年から毎年実施しており、今年で14回目になります。これまで多くの大学院生の皆様に回答していただきました

## ●2016年度の調査の結果

アルバイトの状況が、大学院生の経済実態を端的に語ります。79.2%がアルバイトに従事すると回答し、その目的は91.0%が「生活費・学費をまかなうため」としました。

また多くの大学院生が貸与型の奨学金を利用しています。本調査では、59.6%が奨学金の利用経験があると解答し、さらにその45.1%が、300万円以上の借入をしていると回答しました。さらに右の図にあるように、3.1%が1000万円以上の借入をしていると回答しています。

「国立大学の学費も高くなっているこの状況で、アルバイトせずに研究は続けられない。アルバイトすれば研究時間は短くなる。1000万の借金を背負って、将来的な見通しが立たない。」など、寄せられる実態は深刻です。



↑奨学金を借入している院生の借入額

## Web版アンケートの回答方法

アンケートは、Webからでも行うことができます。

全院協ブログから移動してください。

所要時間は約10分、期間は2017年6月12日～9月15日です。

URL:<http://zeninkyo.blog.shinobi.jp>

## ●メディアからも注目

「奨学金借り入れ院生『500万以上』24%以上  
研究削りバイトも 院生協議会調査」  
(朝日新聞 2014年11月27日)

「大学院生 バイトで研究に支障」  
(NHK 2012年11月30日)

## ●報告書を作成、国会へ

全院協では、11月に本アンケートの報告書を作成し、月末には国会議員・政党・省庁へ要請に行っています。過去の報告書はHPから閲覧することができます。下記の全院協ブログからご覧ください。

2017年 全国大学院生協議会

〒186-0004 東京都国立市中2-1一橋大学内院生自治会室気付

電話・FAX: 042-577-5679

E-mail: [zeninkyo.jimu@gmail.com](mailto:zeninkyo.jimu@gmail.com)

ブログURL: <http://zeninkyo.blog.shinobi.jp>

Twitter: @zeninkyo